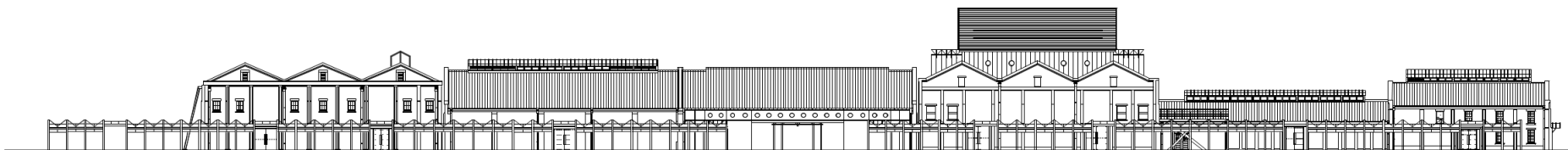


金沢市民芸術村 リニューアル基本構想検討委員会

第3回会議

令和8年1月26日



目 次

- 1 これまでの主な意見
- 2 金沢市民芸術村リニューアル基本構想（案）
 - （１）金沢市民芸術村の現状と課題
 - （２）基本構想策定の趣旨
 - （３）リニューアルに向けた基本的な考え方
 - （４）既存施設の大規模な修繕・改修の考え方
 - （５）新施設の整備の考え方
 - （６）今後の検討課題・留意点
- 3 意見交換の論点

1 これまでの主な意見

検討委員会の経過

日 程	回	内 容
令和7年7月1日	第1回検討委員会	・既存施設の利便性・機能性の向上 ・新施設に求められる機能
令和7年11月5日	第2回検討委員会	・基本構想骨子（案） （機能、規模など）

検討の視点

既存施設の利便性・機能性の向上

○施設（建築物・設備）の機能維持や長寿命化

新施設に求められる機能

○文化芸術活動の拠点としての機能向上

○子どもたちや若人が文化芸術に触れる機会の提供をできる施設

1 これまでの主な意見

検討の視点①

既存施設の利便性・機能性の向上

旧大和町倉庫群を改修した建物

既存施設の修繕・改修による機能維持、長寿命化 など

【意見】

- ・ 現在の既存施設の役割、位置づけを継承すべき
- ・ 市民ディレクター制度という運営面を文化継承の観点から継続すべき
- ・ 既存施設のバリアフリー整備や必要な改修、修繕を着実に進めてほしい
- ・ 時代のニーズに適したリニューアル整備になるとよい
- ・ 空調設備が必要な場所には設備の追加整備できるとよい
- ・ 空調設備や照明設備は、この機会に性能アップも必要である

1 これまでの主な意見

検討の視点②

新しい施設に求められる機能

文化芸術活動の拠点としての機能向上

子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供できる など

【意見】

- ・ 開かれた施設は魅力的なものになる
- ・ 小さな施設規模でも 発表できる場所があると、様々な人が 気軽に立ち寄れる場所や 様々な文化に触れる機会などになる
- ・ 既存施設との役割分担の検討ができるとよい
- ・ 子ども塾の拠点や 子どもたちの育成の場所として活用できるとよい
- ・ 子どもから大人までの 幅広い世代が使いやすい施設整備を検討してほしい
- ・ 音楽、芸術、伝統芸能など 様々なジャンルが交流できるとよい
- ・ 使う人が創り上げていくことで 多様な使い方に対応できる
- ・ 利用者と見学者のお互いが 「見る・見られる」施設になるとよい
- ・ 利用者が 「見せる・見せない」の選択ができるとよい

基本構想の構成

- (1) 金沢市民芸術村の現状と課題
- (2) 基本構想策定の趣旨
- (3) リニューアルに向けた基本的な考え方
- (4) 既存施設の大規模な修繕・改修の考え方
- (5) 新施設の整備の考え方
- (6) 今後の検討課題・留意点

(1) 金沢市民芸術村の現況と課題

金沢市民芸術村の沿革

年	出来事（施設整備、受賞）
1919年（大正8年）	金沢紡績株式会社 工場竣工
1923～1927年（大正12年～昭和2年）	現在の各工房の元になった倉庫群を建設
1993年（平成5年）	大和紡績株式会社金沢工場の操業を停止
1994年（平成6年）	大和紡績株式会社金沢工場跡地取得
1996年（平成8年）	金沢市民芸術村の開村 ○倉庫群（計7棟）及び管理棟を改修 ○機械室とコロネードを新設 ○里山の家を移築
1997年（平成9年）	グッド・デザイン大賞 受賞
1999年（平成11年）	日本建築学会作品選奨 受賞
2001年（平成13年）	パフォーミングスクエアを新設
2006年（平成18年）	公立文化施設の顕彰制度 JAFRAアワード（総務大臣賞） 受賞
2011年（平成23年）	事務所棟の耐震補強工事を実施
2022年（令和4年）	日本建築家協会・JIA25年賞 受賞

(1) 金沢市民芸術村の現況と課題

金沢市民芸術村の周辺環境

金沢市民芸術村の西側（西口）、北側（北口）、北東側（中央口）、東側（東口）周辺はマンション・アパートや民家、民間企業の事務所などが隣接

東側は北陸新幹線及びIRいしかわ鉄道が隣接し、南側は市道の奥に犀川が位置している

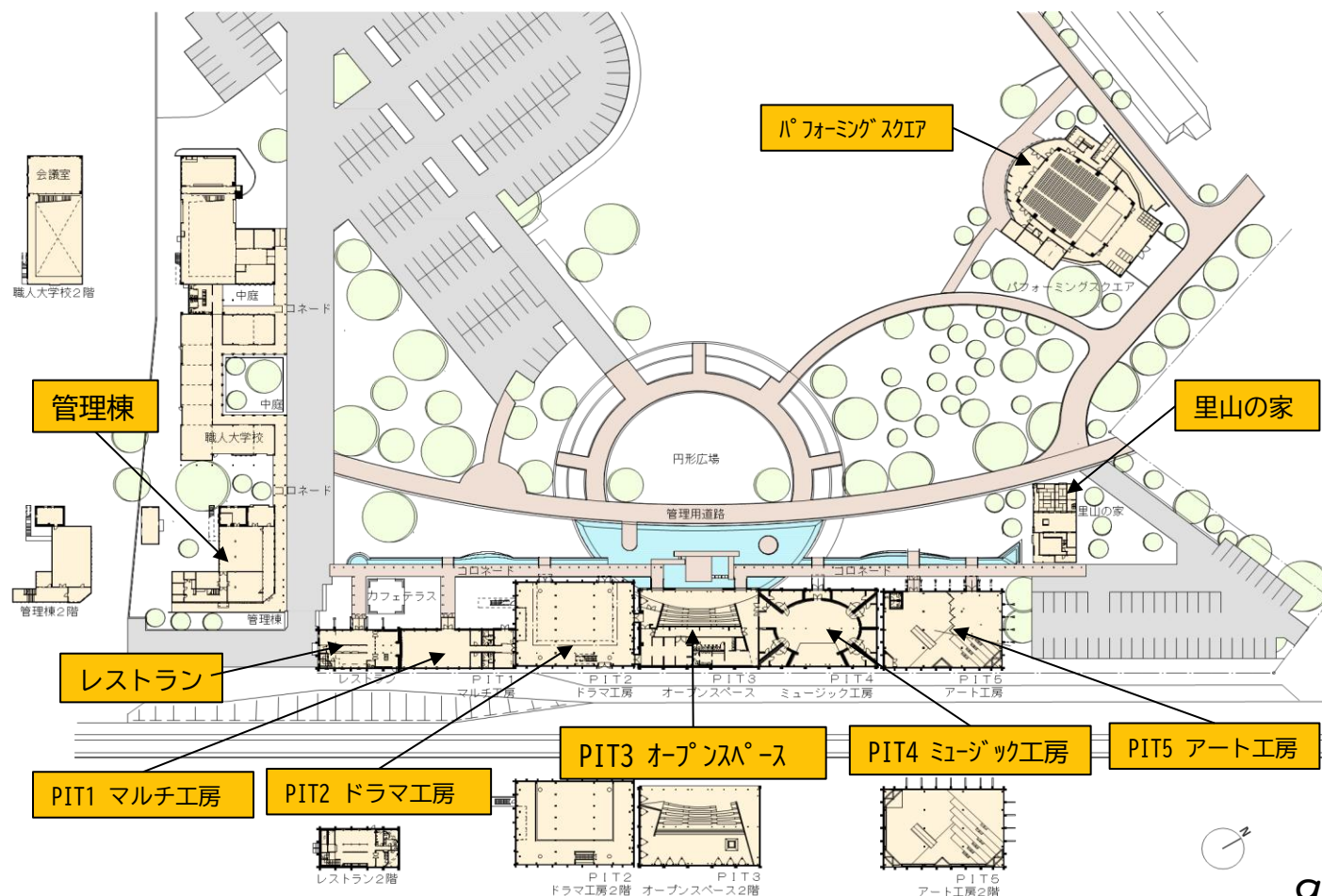
敷地内の東側と南側から西側にかけて計7か所の駐車場があり、敷地内の一部エリアは、防災広場用地に指定されている



(1) 金沢市民芸術村の現況と課題

金沢市民芸術村の施設概要

- 所在地 金沢市大和町1番1号
- 敷地面積 約97,000㎡
- 延床面積 約5,400㎡
- 運営 公益財団法人
金沢芸術創造財団
- 利用時間 24時間、年中無休
- 利用方法 予約制



2 金沢市民芸術村リニューアル基本構想(案)

(1) 金沢市民芸術村の現況と課題

前述した金沢市民芸術村の施設状況や周辺環境を踏まえ、整理した課題は以下のとおり。

視点	主な課題	対応の方向性
既存施設の 利便性・機能性 の向上	<ul style="list-style-type: none">・ 各施設の経年劣化への対応・ 設備機器等が古く、更新が必要・ 車椅子利用など、バリアフリーへの更なる対応	<ul style="list-style-type: none">・ 施設(建築物・設備)の機能維持や長寿命化・ 施設における利便性の向上や安全性の確保
新施設に 求められる機能	<ul style="list-style-type: none">・ 文化芸術活動における、次代の担い手、支え手の育成・ 音楽、ダンス等の練習施設の不足解消・ 中学校文化部活動の地域展開など、社会情勢の変化への対応	<ul style="list-style-type: none">・ 子どもたちが文化芸術に親しむ機会の創出・ 音楽、演劇、ダンス等の文化芸術活動の練習場所の拡充・ 誰もが利用しやすく、使用しやすい施設に向けた整備

(2) 基本構想策定の趣旨

構想策定の背景・目的

平成8年の開村から30年、建築当初から概ね100年を経過しており、施設・設備の老朽化が著しく、既存施設の機能維持や長寿命化が必要



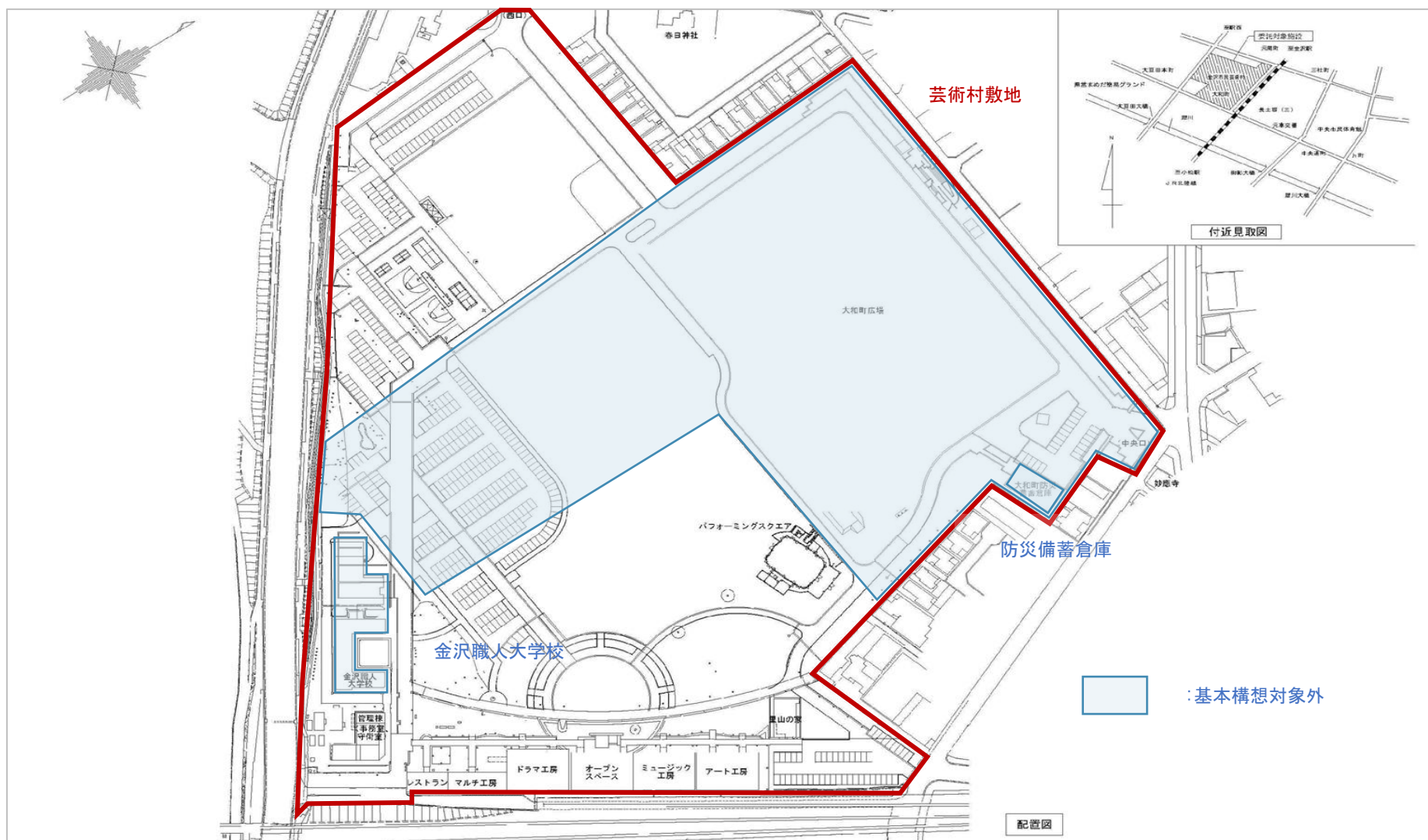
市民が気軽に文化芸術に触れる機会の提供や、市民自らが多彩な創作活動に打ち込むことができる文化芸術活動の拠点としての機能向上とともに、次代を担う子どもや若人たちが文化芸術に親しむことができる新たな施設の整備

金沢市民芸術村リニューアル基本構想

を策定

(2) 基本構想策定の趣旨

本構想の対象範囲



2 金沢市民芸術村リニューアル基本構想(案)

【基本理念】 【目指す姿】

【機能】

【リニューアル概要:方針／整備案】

芸術村の理念継承と

文化の未来を生み出す拠点づくり

市民が主役であり続ける、さらなる文化芸術活動の拠点へ

次代を担う子ども
や若人たちが文化
芸術に親しむ場

多彩な文化芸術
活動ができる場

新たな歴史と交流
を生み出す場

練習

発表

交流

【既存施設】

方針1
機能維持・強化や長寿命化

配管及び機器等の更新

劣化腐食部分、照明・トイレの改修

空調、換気、防災、舞台設備などの更新

移動の円滑化、安全性の確保

方針2
バリアフリー化の推進

【新施設】

方針1
子どもたちをはじめ、
あらゆる世代の利用に
資する施設

子供たちに文化芸術に触れる機会を提供

- ・ 伝統芸能等に利用可能な和室
- ・ 音楽、ダンス、演劇等の練習に利用可能な
中規模練習室
- ・ 個別練習に利用可能な小規模練習室

多彩な創作活動や成果発表に対応できる環境の整備

- ・ **多様な使い方に対応できる練習室**
- ・ 本番環境に近い設備を有する練習室
- ・ 大和町広場を活用した野外ステージ

方針2
様々な人が気軽に立ち寄り、
交流・観覧できる施設

多様な人々が交流できる環境の整備

- ・ 練習や制作風景を見学できる**練習室**
- ・ **様々なジャンルが交流できるエリア**
- ・ オンライン指導やセッションが可能な
Wi-Fiの設置や、**スマートキーの導入**など、
デジタル技術の活用

施設規模(案) 延べ床面積:約1,700㎡ (うち、練習室面積 約930㎡)

2 金沢市民芸術村リニューアル基本構想(案)

(3) リニューアルに向けた基本的な考え方

基本理念

芸術村の理念継承と文化の未来を生み出す拠点づくり
～市民が主役であり続ける、さらなる文化芸術活動の拠点へ～

施設の機能維持や保存、金沢市の文化芸術の継承、多様な人々との交流、新たなニーズや要素を紡ぐことで、文化芸術の担い手・支え手を育成することや、より広く市民が活用できることを目指す

2 金沢市民芸術村リニューアル基本構想(案)

(3) リニューアルに向けた基本的な考え方

目指す姿

次代を担う子どもや若人たちが文化芸術に親しむ場

- ・既存施設において適切な機能改善を行う
- ・文化芸術の担い手・支え手の育成とともに将来的な文化活動の地域展開も見据えた新施設の整備

多彩な文化芸術活動ができる場

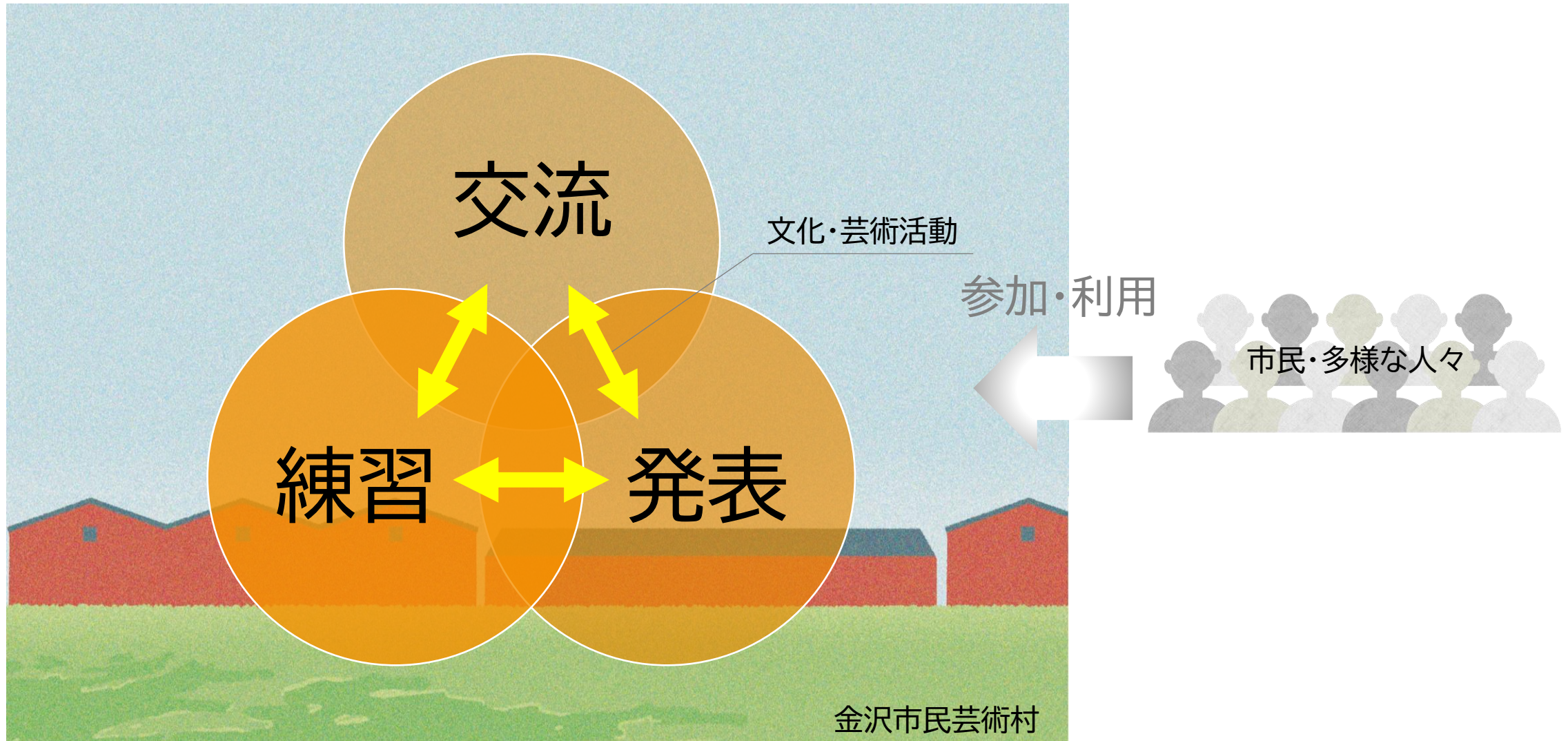
- ・多様な利用用途にも柔軟に対応できる空間づくりに努め、さらなる文化芸術活動の質の向上、利便性を高めるための環境整備
- ・文化芸術の練習や発表などの風景を「見える・見せる」ことで、様々な人が気軽に文化芸術にふれることができる機会の創出

新たな歴史と交流を生み出す場

- ・誰もが利用しやすいバリアフリーデザインに対応した環境整備
- ・金沢市の文化芸術活動の振興・発展や新たな文化発信・交流に寄与
- ・デジタル技術やICT等を活用した情報交流等により、新たな価値の魅力などを学び、交流できる環境整備

2 金沢市民芸術村リニューアル基本構想(案)

(3) リニューアルに向けた基本的な考え方 施設の核となる機能



(4) 既存施設の大規模な修繕・改修の考え方

基本方針

方針1 機能の維持・強化や長寿命化など、既存施設の価値や魅力を継承する整備

■建物の内部、外部における劣化腐食部分の改修

- 内装材補修及び交換、白アリ被害部分の補修、床材張替などの内部改修
- 屋根板金、防水、樋の改修、柱・外壁の補修及び塗装の更新、トップライトのガラス・パネル交換などの外部改修

■照明・トイレの改修

- 照明器具の性能向上（LED化など）、トイレの洋式化など

■設備の配管及び機器等の更新

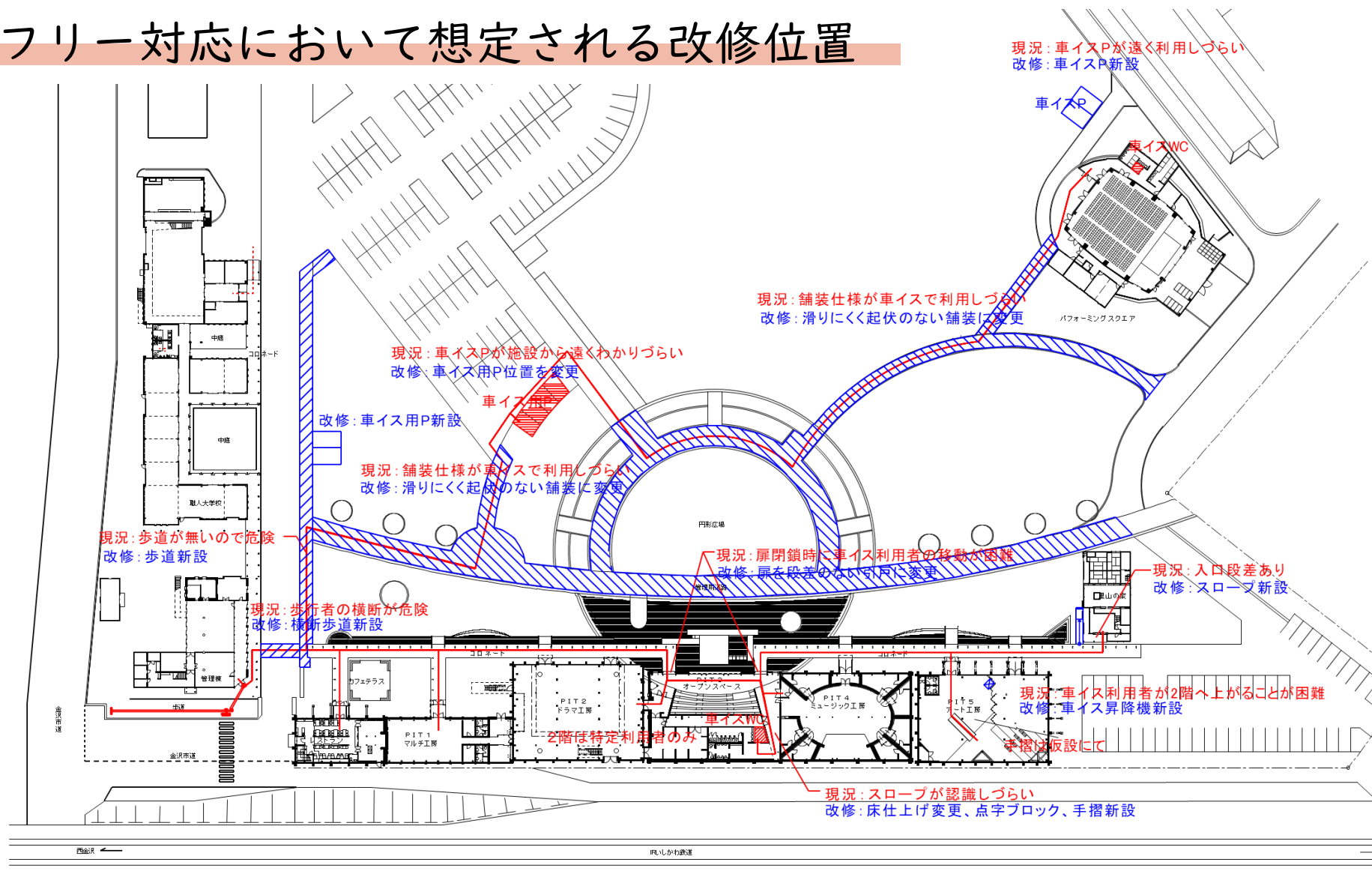
- 配線器具、消火栓ポンプ、非常用発電機及び始動用蓄電器、給水、ガス、排水配管などの更新
- 空調・換気、防災、舞台設備などの更新及び追加整備

方針2 バリアフリーに対応した誰もが利用しやすい環境の整備

■移動の円滑化、安全性の確保

- 外構を起伏のない舗装に変更（通路・コロネード含む）
- 建物に隣接する車椅子使用者等用駐車スペースの新設
- オープンスペース等の引き戸について、段差のない引き戸に改修
- 車いすりフトなどの設置
- 誘導用ブロック、スロープ、手摺などの設置

(4) 既存施設の大規模な修繕・改修の考え方 バリアフリー対応において想定される改修位置



(5) 新施設の整備の考え方

新施設における整備の方向性、備えるべき機能

方針1

方針2

子どもたちをはじめ、あらゆる世代の利用に資する施設

様々な人が気軽に立ち寄り、交流・観覧できる施設

■子どもたちに文化芸術に触れる機会を提供

- 金沢の伝統芸能やダンス、音楽、演劇等の練習場所を整備
- 中学校文化部活動の地域展開を見据えた環境を整備

機能

- ・伝統芸能等に利用可能な和室
- ・音楽、ダンス、演劇等の練習に利用可能な中規模練習室
- ・個別練習に利用可能な小規模練習室

■多彩な創作活動や成果発表に対応できる環境の整備

- 多様な利用形態に柔軟に対応可能な室内構造の設計
- 音響などに優れた環境を整備
- 野外向けステージなど、屋外広場等を活用できる環境を整備

機能

- ・多様な使い方に対応できる練習室
(既存施設との役割分担)
- ・本番環境に近い設備を有する練習室
- ・大和町広場を活用した野外ステージ

■多様な人々が交流できる環境の整備

- オープンスペースなど、気軽に交流できる環境を整備
- 文化芸術の練習風景を気軽に見ることができる環境を整備
(見せる・見せないの選択が可能な環境)

機能

- ・練習や制作風景を見学できる練習室
- ・様々なジャンルが交流できるエリア
- ・オンライン指導やセッションが可能なWi-Fiの設置や、スマートキーの導入など、デジタル技術の活用

(5) 新施設の整備の考え方

施設配置

■配置条件

- ・敷地内の一部を大和町防災拠点広場として整備
- ・敷地内の駐車場が不足気味

■留意点

- ・西側（図の上方）はマンションや民家に隣接
- ・既存の施設であるPIT、パフォーミングスクエア、里山の家、管理棟などに近接することで、施設間の相互利用を促進

上記の配置条件・留意点を踏まえ検討



上図に示す、レンガ造のPITとパフォーミングスクエアとの間に整備

2 金沢市民芸術村リニューアル基本構想(案)

(5) 新施設の整備の考え方

整備規模

■必要な練習室面積の考え方

音楽（吹奏楽、合唱、ジャズなど）やダンス、演劇や子ども塾の練習など、多目的な利用ができるエリア
→現在の中学校文化部活動や、子ども塾で使用している練習室面積から、必要な面積を想定する

	区分	練習室面積
01	吹奏楽部	約450㎡（内訳）全体練習：音楽室 約130㎡ パート練習：約40㎡×8部屋
02	合唱部	約130㎡（音楽室）
03	素嚙子子ども塾	約330㎡（教育プラザ富樫） 【内訳】全体練習：研修室131 約150㎡ パート練習：研修室211 約100㎡ スタジオA 約80㎡
04	加賀宝生子ども塾	約200㎡（金沢能楽美術館 3階研修室）

上記表における合計面積

練習室面積：約930㎡

2 金沢市民芸術村リニューアル基本構想(案)

(5) 新施設の整備の考え方

整備規模

■施設の延床面積の考え方

既存施設（練習施設）の延床面積の合計

	区分	構造	延床面積
01	PIT1 マルチ工房 (第2・3倉庫)	木造・外壁レンガ+RC造	約250㎡
02	PIT2 ドラマ工房 (第4倉庫)	鉄骨造・外壁RC造	約850㎡
03	PIT4 ミュージック工房 (第6倉庫)	木造一部RC造・外壁レンガ造	約500㎡
04	PIT5 アート工房 (第7倉庫)	木造一部鉄骨造・外壁RC造	約600㎡
05	パフォーミングスクエア	SRC造	約800㎡
06	里山の家	木造	約300㎡
合計			約3,400㎡

(5) 新施設の整備の考え方

整備規模

■施設の延床面積の考え方

- ・パフォーミングスクエア：延床面積：約800㎡、練習室面積：約450㎡

$$\text{練習場面積/延床面積} = \text{約}450\text{㎡} / \text{約}800\text{㎡} \div \text{約}55\%$$

- ・新施設に必要な練習室面積 約930㎡

【内訳】 中学校文化部活動（吹奏楽・合唱）練習室面積 580㎡

こども塾（素囃子・加賀宝生）練習室面積 350㎡

$$\text{必要な練習場面積/面積比率} = \text{約}930\text{㎡} / \text{約}55\% \div \text{約}1700\text{㎡}$$

上記の考えを踏まえ、施設規模は以下の面積とする

延床面積：約1,700㎡
(うち練習室面積：約930㎡)

新施設の整備により、
市民芸術村練習施設全体の延床面積が50%増加
➡子どもから大人まで十分な練習環境を創出

※ただし、建築費の高騰や財政環境の変化があった場合は、規模の縮小など柔軟に対応

(6) 今後の検討課題・留意点

■既存施設の改修について

- ・各施設の改修内容及び優先度を検討

■新施設の整備について

- ・既存施設と調和した意匠や空間づくり等を検討
- ・敷地内における緑化環境の保全に資する対応の検討
- ・既存施設との役割分担を踏まえた各諸室の使い方を確認し、ゾーニングイメージと必要な機能（空調設備、備品等）を検討

■リニューアル全体について

- ・利用者に配慮した整備スケジュールを作成し、概算費用を算出

3 意見交換の論点

基本構想の内容

基本構想（案）について、付加すべき事項がないか

今後の検討課題において、付加すべき事項はないか